

—未来を切り拓き、個々の幸せを実現する教育—

—郷土への誇りと愛着をもち、継承する心を育てる「子ども堺学」—

堺市教育委員会

1. はじめに

堺市は、近畿の中央部に位置し、面積約 150 平方キロメートル、人口約 81 万人を有する政令指定都市です。古代には、市内の東西・南北約 4 キロメートルの範囲に世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群が築造され、かつて 100 基を超える古墳が造られた百舌鳥古墳群は、その半数近くが失われましたが、現在でも 44 基の古墳が残っています。令和元年 7 月に「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録され、百舌鳥古墳群の、23 基の古墳が世界遺産の構成資産として登録されてから 4 年が経ちました。歴史的にも重要な古墳時代の文化を代表するこれらの古墳は、まさに日本の古墳文化を物語る貴重な遺産といえます。

堺市では、その価値や魅力をより多くの方へ伝えるための様々な取組を進めています。令和 3 年 3 月 13 日に開館した、「百舌鳥古墳群ビジターセンター」では、壁面や床面に投影する超高精細な 8K 空撮映像等で百舌鳥・古市古墳群の雄大さや堺の歴史を体感できます。また、隣接する大仙公園内にある「堺市博物館」では、仁徳天皇陵から出土した石棺、石槨、よろい、かぶとなど出土品や、古墳時代から明治時代までの堺の歴史について学ぶことのできる展示を見ることができます。

さらに、本市の偉人である茶の湯の大成者「千利休」や日本近代文学を切り拓いた歌人「与謝野晶子」をテーマとする文化施設「さかい利晶の杜」など、賑わい創出と地域経済の活性化、都市魅力の向上を図るなど、「歴史文化のまち堺」として、市民が「誇り」を感じ、全国・世界の人々が「憧れ」を抱くまちの実現に向けて取り組んでいます。

2. 教育目標

めざす子ども像

それぞれの世界へはばたく“堺っ子”

- 自分のよさを知り、人を認め、人とつながり協働する
- 自らを律し、自ら学び続け、自らを表現する
- ゆめの実現に向けて挑戦する
- 堺を愛し、堺を誇りとする
- 多様な価値観を認め、多様な文化を理解する

近年、急激に変化する時代の中で、学校教育には、一人ひとりの子どもたちが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。

そこで本市教育委員会では、「第 3 期未来をつくる堺教育プラン」において、堺の教育資源を活用した「子ども堺学」を推進し、百舌鳥古墳群をはじめとする堺の歴史文化遺産や、地域と堺の歴史、人物、産業、自然等を教育資源として活用し、堺のまちを知り、理解する学習を実践しています。堺を愛し、堺に誇りをもつことで、地域の実情に応じた創意工夫ある魅力的な取組を創造することをめざしています。

3. 教育委員会・学校での取組

(1) 「子ども堺学」の推進

本市においては、堺の歴史や伝統・文化・産業・人々の生活などについて学習する、「子ども堺学」に取り組んでいます。

- 子ども堺学**
- ・地域を学ぶ・・・地域のことを学習する
 - ・地域で学ぶ・・・地域をフィールドにして、地域で学習する
 - ・堺を学ぶ・・・堺の歴史的・文化的なものについて学習する

各校区の歴史・文化・自然などの特徴を生かした学習を行い、地域と堺の歴史、人物、文化や産業などについて学ぶことを通して、堺を愛し、堺に誇りをもつ子どもを育成しています。さらに堺のことを深く調べるための新たな取組へと繋げることもねらいとしています。

また、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を契機として古墳や歴史等について学習を進め、各校での特色ある取組について情報発信し、「子ども堺学」の充実に努めています。

今年度においても、各校で工夫した体験学習や施設見学を実施することで、「子ども堺学」を通して探究的な学びを実現してきました。また、中学校区で地域の特色を生かした「子ども堺学」に取り組む学校もあり、教育課程全体を通して育成をめざす資質・能力を明確にした「子ども堺学」のさらなる推進が期待されます。



(↑資料 「子ども堺学」について 世界遺産学習ノートより)

(2) 「堺市世界遺産学習ノート」の活用

平成 28 年度から毎年、堺市博物館等との連携により、世界遺産について学ぶ「百舌鳥・古市古墳群 堺市世界遺産学習ノート」を作成し小学 6 年生に配付してきました。主に歴史に関わる学習の他、総合的な学習の時間において探究的な学習を行う際にも活用しています。

令和 3 年度からは、世界遺産学習ノートを電子化したことで、一人一台端末での閲覧や、大型テレビでの映し出しも可能となり、各学校での様々な取組に対応できるようになりました。今後は、体験学習や施設等を使用した学習と組み合わせるなど、「子ども堺学」に関する学習の更なる充実に努めます。

4. おわりに

超スマート社会 (Society5.0) という新たな時代を迎える中で、本市においては、子どもたちが郷土堺の歴史・文化のよさを知り、堺を愛し、誇りをもつことで、国際的な視野をもち、多様な文化を尊重する心を育てていきます。そして「それぞれの世界」を舞台に挑戦し、充実した豊かな人生を送ってほしいと願っています。

今後ますます文化・観光拠点の整備が進み、府域の連携や観光客の増加など様々な変化が予想されます。その中において、教育の分野では、これまでの取組を確実に継続しながら、発信・伝達等 ICT の効果的な活用をすることで、百舌鳥古墳群をはじめとする世界に誇る堺の伝統や文化を継承し、優れた文化を創造することのできる子どもを育成したいと考えています。